



【学校教育目標】「互いの成長を認め合いながら自ら道を拓く生徒の育成」

“笑顔満祭”の戸山祭！！ 全員の活躍に拍手を送ります！！

11月2日（土）に「笑顔満祭」のテーマのもと第26回戸山祭が開催されました。生徒達はステージ発表や全校合唱でこれまでの練習の成果を最大限に発表しようと一生懸命に表現していました。

また、多くの保護者や地域の方にもご来校いただき戸山中生徒の頑張りを見て頂きましたことに心から感謝申し上げます。

【生徒の感想を紹介します。】

【3年 檜原 ねね】

まず、本番前の感想は同じ実行委員だったみんなや先生と協力して一つのシナリオを作り上げたことがとても印象に残っています。元の台本を参考にして、みてるみんなが理解しやすいセリフにできるように、友達と話し合いをしました。最後の文化祭を実行委員として関わってとても楽しかったです。劇の練習に入ると、初めはどうしても恥ずかしさが抜けずなかなか良い演技が出来ませんでした。ですが、他の人の演技に感化され、少しずつ声を張り上げるなど強調したい部分を意識して練習に挑むことができるようになったと思います。本番では、自分が思うよりも大きい声を出す事を意識して劇をしました。振りも少し付けることができてよかったです。生徒会の面でもたくさんのが出来ました。今年はテーマを決めることや横断幕など、去年よりも沢山全校生徒に協力してもらいました。生徒会としての最後の行事を無事に終わらせることができ、安心と楽しかった気持ちでいっぱいでした。次の受験勉強も頑張りたいです。



【3年 諫山 希童】

今年は最後の戸山祭だったけど3年生全員で協力して劇を完成させられたのでよかったです。みんな人の役や仕事に責任を持ってできていたので今までで一番良い劇になったと思います。劇の時には先生たちからのアドバイスを生かして役になりきっていたので良かったと思いました。自分の委員会の仕事も忘れずに最後までできました。合唱も短い時間で練習してきた成果を発揮して歌えました。中学校生活最後の戸山祭を一から作ることができて楽しめたので良かったです。



【2年 林 諒輔】

予想通り、秋吉先生を泣かせることができました。秋吉先生には去年から自分たちのことを見ていただいているとはいえ感動して泣いてもらえるほどの感情移入ができる劇を完成させることができたので、とても良かったなと思います。

運営側では、電気を消したり、パンフレットなどを作ったり自分の仕事を全うできました。会場設営や後片付けも来年の段取りなども頭に入れながら行動することができました。

戸山祭を境に委員会が新しくなり、しないといけないことも増えるので今回の戸山祭で学んだことを活かして生活していきたいです。



【1年 伊藤 健人】

今回の戸山祭を通して、みんな一生懸命セリフを覚えたり、着替えたり、忙しかったけどそれぞれの役になりきってよかったです。

主演の五人は、セリフと着替えが多い中でも落ち着いて、はっきりゆっくり喋ったりきちんとした、着こなしをしたりしていてすごかったです。

裏方の係りのひとは、時間のない中でも静かに素早く正確に行っていてよかったです。

ただ、合唱など全体的に声が小さかったと感じたので、来年は改良したいです。

【1年 柳瀬 成琉】

他の学年の劇を見て表現の仕方がうまかったり声も大きく一人一人が自分の役目を理解できていてすごかったです。自分たちの劇ではみんないつもより緊張して声が小さくなってしまった部分などもあったけれど面白くするところはいつもより面白かったです。僕はステージで話すことは少なかったけど小道具を運んだりスポットライトなどで自分の仕事できてよかったです。スポットライトはタイミングがむずかったけどノーミスできてよかったです。

